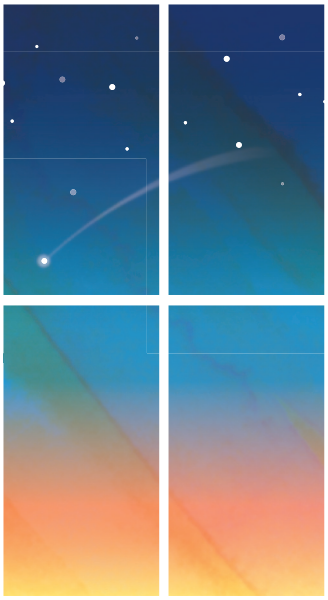
2020

公益財団法人お金をまわそう基金

Annual Report



公益財団法人お金をまわそう基金　発行



寄付文化を高め、必要なところに必要なお金がまわる社会へ

おかげさまで公益財団法人お金をまわそう基金は5周年を迎えました。
コロナ禍という誰も予想し得なかった出来事に見舞われた2020年でしたが、19団体20事業にみなさまからのあたたかいご寄付を届けることができました。
「お金をまわしてよりよい社会をつくる」という想いを共にし、ご支援くださったみなさまに心から感謝申し上げます。

また、休眠預金等活用法に基づく指定活用団体「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」より、2019年度資金分配団体に採択された3か年事業が始動しました。
2020年は眠っていた預貯金が目覚め、社会課題の解決に結びつく事業への利活用が始まるまさに夜明けの年でした。2021年はさらに民間公益活動の担い手として、助成先団体とともに飛躍できるよう力を尽くしてまいります。

引き続き私たちの活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お金をまわそう基金は社会課題の解決をめざす団体と
寄付者をつなぐ、えんづくりのプラットフォームです

助成先団体を責任もって選びます
助成先団体の活動を広め、共感とともに寄付を募ります
お預かりした寄付は100%助成先団体に届けます

Index

03	ごあいさつ	
05	お金をまわそう基金のえんづくり	
06	助成先団体と支援者をつなげる「縁づくり」	
07	支援者の想いを100%届ける円づくり	
08	助成先団体紹介	
09	■文化・伝統技術分野	特定非営利活動法人熊本まちなみトラスト 公益財団法人山本能楽堂
10	■子ども分野	一般財団法人日本京劇振興協会 公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO（旅行事業）
11		特定非営利活動法人タイガーマスク基金 一般社団法人Colabo
12		特定非営利活動法人クリエイト 特定非営利活動法人福岡教育サポート
13		特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク 特定非営利活動法人みかんぐみ
14		一般社団法人星つむぎの村 公益財団法人がんの子どもを守る会
15	■スポーツ分野 ■地域社会分野	一般社団法人 ATHLETE SAVE JAPAN 特定非営利活動法人森ノオト
16		特定非営利活動法人ウルシネクスト 特定非営利活動法人モンキーマジック
17		認定特定非営利活動法人ハーベスト 分野別寄付のご案内
18	お金をまわそう基金×休眠預金等活用事業	
19	休眠預金等活用事業 実行団体 ■子ども分野	公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO（交流事業）
20		公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を 特定非営利活動法人Lino
21	きもちのぜいたく　こころのまんぞく	
23	決算報告	
25	寄付の取り扱いについて/寄付の方法	

お金をまわそう基金を
フル活用してもらって、
「おたがいさま」や
「おかげさまで」のタネを
社会の中にどんどん
蒔いていきませんか？





第5期は「お金をまわそう基金」の助成先が、昨年度の11団体11事業から、19団体20事業へと大きく増加しました。これは新型コロナウイルスの影響もあるかと思いますが、私たちの活動が社会貢献分野の中で広く認められてきた証であると言えます。

その一方で寄付額は伸び悩みの実績に終わりました。こういった時ほど世の中のお役に立たなければならないのに、寄付文化を高めようとする私たちの発信力や活動力に、まだまだ力不足を痛感します。

「お金をまわそう基金」を創った一番の目的は、なんだったと思いますか？日本の寄付文化を高めること？そうなのですが、実はその先にもっと大きな「やらなければならない」ことがあるのです。それは、日本経済の活性化です。日本経済が成長力を取り戻し、みなが元気になり、若い人たちが将来に夢と希望をもてるようにすることです。

一国の経済が高度経済成長期を経て成熟化してくると、国民の消費はガクンと落ち込みます。国民は欲しかったモノをほとんど手に入れ、以前ほどはお金をつかわなくなるのです。そこで大事になってくるのが、モノではない方向に意識してお金をつかうことです。経済はお金がつかわれさえすれば、いくらでも元気になります。そうなのです、成熟経済日本の活性化には、なんとしても国民の間で「お金をつかう文化」を高めていく必要があるのです。

こんな時に、936兆円（日銀速報、2020年9月末）もある個人の預貯金マネーが、大きな役割を果たすことになるのです。たとえば、その一部でも寄付にまわってくれると、日本は一気に明るくなります。ちなみに、預貯金の1%が寄付にまわるだけで、その寄付を受けた人たちはなんらかの消費をします。その消費が日本経済を即座に1.7%も成長させてくれるのです。もし、預貯金の3%が寄付にまわれば5.1%の成長です。それがまわりまわって国民全体の所得増につながっていきます。誰にとっても喜ばしいことです。

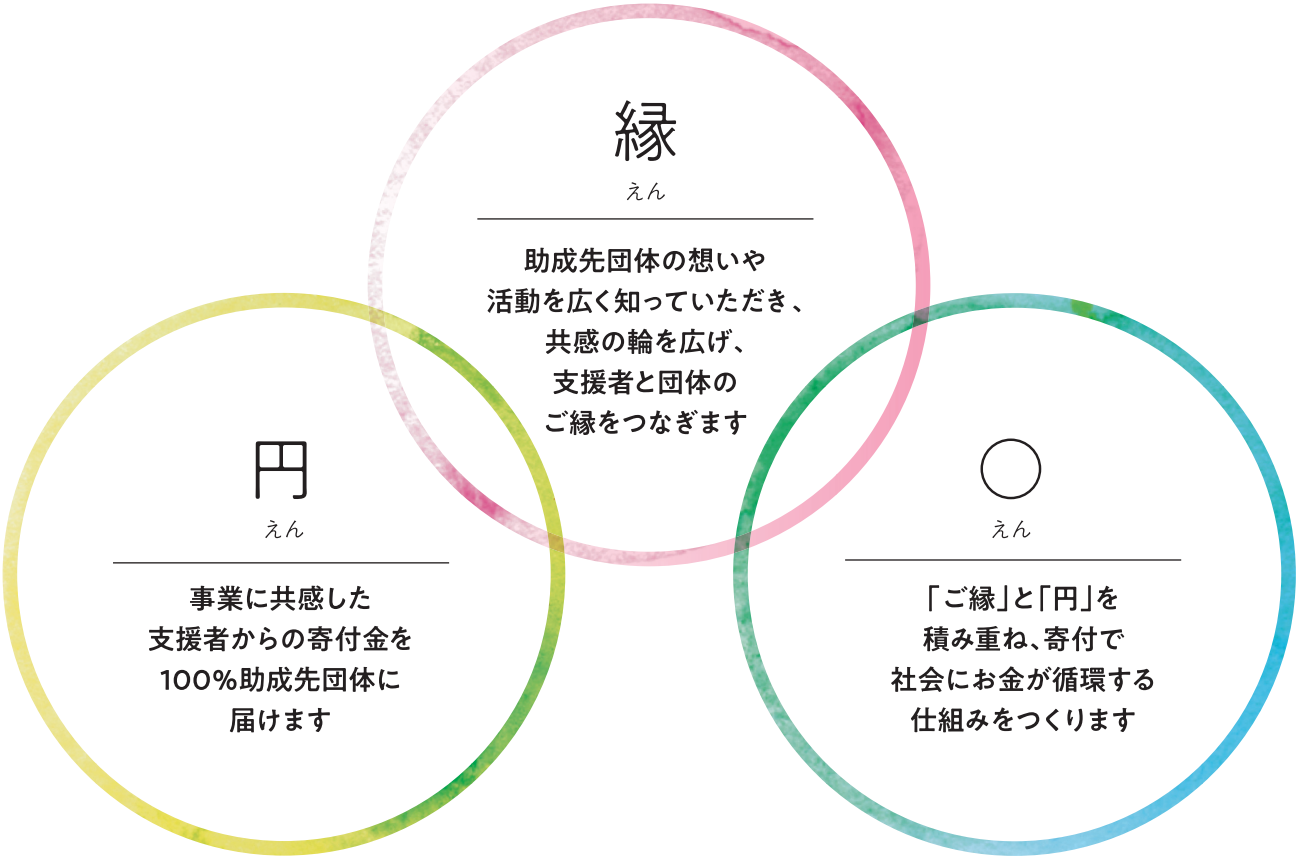
第6期は人員を拡充して、攻めの運営に徹したいと考えております。とりわけ、助成先団体の少ないスポーツ分野の助成先を拡大することと、ご寄付をより多くの人に募ることに力を入れます。

日本で「寄付」という文化を高めていくために、「お金をまわそう基金」は今年も頑張って参ります。

公益財団法人お金をまわそう基金
代表理事　澤上 篤人

お金をまわそう基金のえんづくり

社会的課題を解決するために活動している非営利団体に
3つの「えん」でお金をまわします



寄付に必要なのは「どれだけ与えたか」ではなく
「どれだけ想いを注いだか」にあります。

自分も、家族も、社会も幸せに。

その想いを「寄付」に乗せて、必要な場所に届けるために。
お金をまわそう基金は、寄付文化を高め、広く社会を巻き込むことで、
より良い世の中を創っていきます。

お金をまわそう基金は「助成型財団」です。

助成型財団とは、団体などが行う研究や事業に対して資金提供をする団体を言います。
私たちは、多くの方からの寄付をお預かりし、社会的な貢献活動を行う団体に助成することで、
社会のさまざまな課題を解決し、明るい未来を創る活動をしています。
また、自主財源だけでは運営が困難な助成先団体には、寄付金を集める方法や、
法人運営のアドバイスを行い、将来的に自立できるような伴走支援も行っています。

お金をまわそう基金は「えんづくりのプラットフォーム」です

助成先団体と支援者を繋げる「縁づくり」

2019年12月1日、当財団の第５期が始まりました。その１か月後から誰も想像できなかった新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。当財団でも4月と5月は完全リモートワークとなり、予定していたセミナーや活動体験、訪問などは中止や延期を余儀なくされました。

コロナ禍は助成先団体の支援の先にいる人たちにも大きな影響を与えました。飲食店のアルバイトがなくなり困窮に陥る養護施設出身の大学生、楽しみにしていた旅行や公演が中止となり、力を落とす医療的ケア児やその家族、そして施設の子どもたち。
相談事業や交流事業、公演など、人が集まる事業も軒並み中止となり、社会との接点が断ち切られてしまう人たちもいました。

このような人たちを助けるために、助成先団体の多くが、出来得る限りの対策を講じて事業を進めてきました。苦しい状況にあるからこそ「活動を続けること」の大切さをみな知っているのです。

そして、そのような事業に対して、多くの方から温かい寄付が届けられました。
「寄付」という行為に、支援してくださる方々の「強い想い」と「活動への期待」が込められていることを、助成先団体も私たちもこれまで以上に深い気持ちで受け止めています。

支援者の想いと助成先団体の活動をつなぐお金をまわそう基金の「縁づくり」事業。
コロナ禍に見舞われたことで、私たちの事業の意義と素晴らしさをより深く感じることができた第５期となりました。ご支援いただいたみなさまに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

世の中がどのような状況になっても、私たちは「えんづくり」を通じて
「守るべきもの」「育てるべきもの」「伝えるべきもの」「大切にするべきもの」
のバトンを未来に渡していきます。

支援者の想いを100%届ける「円づくり」

第5期は、寄付者数、助成金額ともに前期を上回ることができました。
助成先団体数も増え、19団体20事業に、みなさまからの温かいご寄付を届けることができました。

	第2期(2017年度)	第3期(2018年度)	第4期(2019年度)	第5期(2020年度)
寄付者数(のべ)	135人	557人	1,393人	1,456人
助成先団体数	4団体	7団体	11団体	19団体
助成事業数	4事業	7事業	11事業	20事業
助成額	429万円	577万円	1,556万円	2,815万円

※寄付者数は複数回寄付している方や法人を含みます。※事業期間は12月1日から11月30日です。
※当財団運営費への寄付は除きます。

助成先団体名	事業概要	助成金額(円)
■休眠預金等活用事業　※3か年事業の1年目		
公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO(交流事業)	医療的ケア児とその家族同士の交流事業	2,883,576
公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を	離島在住の医療的ケア児とその家族の応援事業	4,910,726
特定非営利活動法人Lino	医療的ケア児等の旅行体験や映画上映会	3,603,776
■通常事業		
特定非営利活動法人熊本まちなみトラスト	文化遺産や歴史的建造物の保存と活用・継承	99,800
公益財団法人山本能楽堂	国際相互理解の懸け橋を目指す能の海外公演	138,916
一般財団法人日本京劇振興協会	中国の伝統芸能「京劇」の振興活動と福祉支援	840
公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO(旅行事業)	難病児の夢の実現と思い出づくりのための東京旅行	583,512
特定非営利活動法人タイガーマスク基金	児童養護施設出身学生への大学進学支援金給付	5,306,276
一般社団法人Colabo	孤立する少女たちのためのシェルター運営と自立支援	4,920,432
特定非営利活動法人クリエイト	不登校児のためのフリースクール	2,710,482
特定非営利活動法人福岡教育サポート	学習機会に恵まれない子どもたちのための無料塾	560,446
特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク	重症心身障害児の放課後等デイケア	795,700
特定非営利活動法人みかんぐみ	重症心身障害児、医療的ケア児を持つ家族のピア相談	669,300
一般社団法人星つむぎの村	病児や障害児に届ける「フライングプラネタリウム」	107,794
公益財団法人がんの子どもを守る会	小児がん患児とその家族に向けたweb講演会の開催	57,243
一般社団法人ATHLETE SAVE JAPAN	ASJ「いのちの教室」の開催	147,434
特定非営利活動法人森ノオト	ローカルメディアによる「まちづくり」	97,000
特定非営利活動法人ウルシネクスト	国産漆を守るための「漆の森づくり」	445,280
特定非営利活動法人モンキーマジック	交流型クライミングイベントの開催	61,957
認定特定非営利活動法人ハーベスト	中学・高校キャリアセミナーの実施	51,395

※助成金額は2020年11月30日現在のものです。詳細は団体別のページをご覧ください。

コロナ禍の影響で事業の延期や事業内容の変更などを行う団体もあります。
お金をまわそう基金では、寄付金の適正な活用を最後まで責任をもって確認し、見届けます。

Introduction

助成先団体のご紹介

文化・伝統技術分野

子ども分野

スポーツ分野

地域社会分野



文化・伝統技術分野

歴史文化遺産の保存と新しいまちづくり体制で記憶の継承を



任意団体創立の1997年以来、熊本まちなみトラストは『記憶の継承』を基本理念として近代化遺産の顕彰および建物の保存活動を行ってきました。熊本地震以降の3年間は新町古町地区における被災文化遺産の復旧支援を中心に活動していましたが、被災文化遺産の復旧工事が2020年3月末に完成。法人設立当初の目標が達成され、活動目標を『震災復興』から『まちづくり文化を後世に伝える』ことに重点を移して事業を展開しています。

民間が主体となり、地域の文化遺産を活用したまちづくりを行うことで、その地域の新たな転入者や若い世代が『街の記憶』を共有することができ、地域住民の新しいコミュニティが生まれます。

歴史的文化遺産の保存は活用と対立するものではなく、表裏一体のものです。社会や地域のために活用しないのであれば、保存する意味を失います。保存にはお金や知恵を使い、汗もかいています。復元した文化遺産を長い時間軸の中でどうするか、これから先考えていかなければなりません。

お金をまわそう基金を通じて届けられたみなさまのご厚志は、文化遺産の保存や活用についての広報資料作成などに充てさせていただきました。熊本地震の記憶が薄れていく中、我々の活動を理解し、応援してくださる方がいることは大きな励みとなりました。改めて深く感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
熊本まちなみトラスト

寄付募集期間：2019/12/01~2020/03/31
助成申請額：**675,000**円
助成金額：**99,800**円

文化・伝統技術分野

公益財団法人
山本能楽堂

Noh for SDGs
－「能」で世界との懸け橋になる－



山本能楽堂では2011年から海外公演を開始し、約9年間に37公演を継続して実施してきました。
2019年は9月25日のブルガリアのスタラ・ザゴラ市からはじまり、日本とブルガリアの友好110周年事業として、プロブディフ市、ソフィア市で開催され、日本と北マケドニアの外交関係樹立25周年記念事業として、北マケドニアのスコピエ市、アルバニアのティラナ市など約3週間にわたって上演され、大成功をおさめることができました。
2020年は伝統的に親日家が多いにも関わらず、日本文化の紹介があまりなされてこなかった北マケドニア、アルバニア、セルビアで能の巡回公演を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で公演が2021年３月に延期となり、その日程もまた秋まで延期となってしまいました。先が見えない状況ではありますが、現地で「能」を待ち望む方々が楽しみに待っていてくださることを励みに準備を進めています。

みなさまからお寄せいただくご寄付は海外公演の運営費などに使わせていただきます。日本文化の素晴らしさを世界にアピールするとともに、日本の伝統芸能による国際相互理解を深め、世界を一つにつなげ懸け橋となります。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人山本能楽堂

寄付募集期間：2019/06/01~2020/05/31　2020/06/01~2021/05/31
助成申請額：**2,000,000**円　**2,000,000**円
助成金額：**60,200**円　**78,716**円（2020/11/30現在）

文化・伝統技術分野



中国伝統芸能「京劇」の振興活動と福祉支援



日本京劇振興協会は一人でも多くの人に京劇を楽しんでもらうために、在日京劇俳優と日本人俳優たちによる公演事業やワークショップ、地域における施設への慰問等を続け、教育・福祉分野に貢献しています。また、これらの活動を通して、外国文化振興と日中友好の架け橋の役割も担っています。

「少人数でも上演可能」「大道具などの設営が不要」「ノンバーバル（言葉に依らない）な演劇」という京劇の特長は、広い会場を持たない施設において、障害の有無や年代などに関係なく楽しんでいただくにはとても有効です。当協会では養護施設や特別支援学級、老人ホーム等での慰問・京劇実演を実施してきました。この活動は福祉分野における「誰もが等しく文化芸術を享受する権利」への大きな一助になると自負しています。

多くの施設では芸術や外国文化に触れる機会が減少しています。コロナ禍では伺える施設も限定されてしまいますが、状況を慎重に見極めながら、この事業を継続・推進し、将来への長期的な活動へと繋げていきたいと考えています。

このたび、お金をまわそう基金の助成先団体に採択され、みなさまにご寄付をお願いする機会をいただきました。私たちの活動にご賛同とご支援を何卒よろしくお願いいたします。

一般財団法人
日本京劇振興協会

寄付募集期間：2020/11/25~2021/03/31
助成申請額：**140,000**円
助成金額：**840**円（2020/11/30現在）

子ども分野

Dream Tokyo
www.guesthouse.or.jp

難病児とご家族に夢の旅行をプレゼント（旅行事業）



ア・ドリーム ア・デイINTOKYOでは、2007年より難病のお子さんとご家族を旅行に招待してご家族全員の思い出作りをお手伝いしています。2019年度は12家族の旅行支援を予定していましたが、3月以降は新型ウイルスの影響により旅行招待事業を休止しています。支援実績は8家族にとどまり、事業再開に向けて基礎体力の強化に励んでいます。

みなさまからのご支援は、再開後の旅行支援事業に活用させていただきます。新型ウイルスの影響が長期化する可能性を踏まえて、長距離の移動を伴わない病児が住む町でのマイクロツーリズムなど、新しい取り組みを念頭に置いて事業再開に向けて努力を続けています。

ドリームに携わる多数の小児医療従事者たちは、困難の多い状況で本業に向き合っておりますが、みなさまもまた新型ウイルスの影響を受けていることと思います。そのような状況でも、たくさんの方々が病児とご家族の夢をかなえるためにご支援くださっていることにドリーム一同感謝申し上げます。

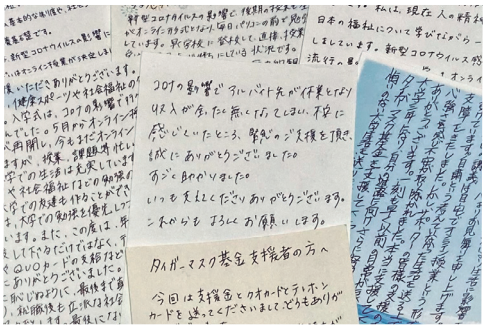
公益社団法人
ア・ドリーム ア・デイ
IN TOKYO

寄付募集期間：2019/12/01~2021/04/30
助成申請額：**1,650,000**円
助成金額：**583,512**円（2020/11/30現在）

子ども分野

タイガーマスク基金
TIGER MASK FOUNDATION

児童養護施設から大学に巣立つ子どもたちに進学支援金を



新型コロナウイルスの感染拡大により、タイガーマスク基金が支援を届けている児童養護施設出身の大学生たちは、アルバイトが予定通りできなくなりました。頼れる家族もなく、仕送りもない学生たちにとって、それは、授業料が払えなくなることであり、生活破綻の危機でもあったのです。

緊急事態宣言や営業自粛が続く中で、寄付を集めることは難しいと思われましたが、「お金をまわそう基金」からの助成金のおかげで、新入生10名と進級できた40名分の進学支援金を確保することができました。タイガー進学支援金は、使途を学費に限定していないため、オンライン授業に対しても、必要なパソコンやタブレットを購入でき、通信費に充てることもできたそうです。

不安を抱えていた学生たちからは「支援金が振り込まれている通帳を見てほっとした」という声が多数寄せられました。今後も、全ての若者たちが安心して巣立っていける社会創りに努力して参ります。社会不安の最中にも関わらず、若者たちの学びの継続のためにご支援をお寄せくださった全てのみなさまに心から御礼申し上げます。

特定非営利活動法人
タイガーマスク基金

寄付募集期間：2019/12/01~2020/11/30　2020/11/25~2021/11/30
助成申請額：**3,097,500**円　**2,685,000**円
助成金額：**3,097,500**円　**2,208,776**円（2020/11/30現在）

子ども分野

Colabo

少女たちの伴走者となり居場所を提供



虐待や生活困窮などで孤立状態にある中高生世代を中心とする少女たちは、知らない人に声をかけられたり、SNSを通して知り合ったりした相手から児童買春や性犯罪の被害に遭うことが多くあります。

一般社団法人Colaboでは、社会的孤立状態にあり、自ら支援の窓口に足を運ぶことが不可能な状態にある少女たちを早期に発見、シェルターに保護し、その後の支援につなぐ活動をしています。みなさまからのご寄付は夜間に駆け込める「第一シェルター」と中長期的な自立支援を必要とする少女に対する生活支援のための「第二シェルター」の運営に充てさせていただいています。

虐待や貧困、孤立を背景に性犯罪に巻き込まれている中高世代の少女と早期につながり、少女の生活改善のための支援を行えるのも、みなさまからのご支援のおかげと深く感謝しております。

今後も少女たちと安心できる居場所、関係性を築き、主体となって活動できる場を提供し、少女たちを困難から救い出す活動を続けてまいります。今後とも私たちの活動を見守っていただけますと幸いです。

一般社団法人 Colabo

寄付募集期間：2019/12/01~2021/03/31
助成申請額：**4,920,432**円
助成金額：**4,920,432**円

子ども分野

特定非営利活動法人
クリエイト

『あなたの居場所はここにある』子どもの未来をささえるフリースクール



2020年はお金をまわそう基金より助成していただいたことで、コロナ禍を乗り越えることができたと思います。4月、5月の完全休校により子ども達の通学ができなかった間、助成金を活用して導入したタブレットが大活躍しました。不安の募る生活の中で、Zoomを活用し、毎朝互いの顔を見て状況を知らせ合い、オンラインで学習状況を確認しながら家庭学習の継続を励ますことができたのは大きな助けになりました。

私たちの活動は普段から寄付金に依るところが大きく、社会情勢の不安定な中で経済的にも例年とは違う状況でしたので、助成金のあることが活動継続のために心強かったです。2020年は国家間の往来が制限されたことで帰国困難となったミャンマーからの子ども達4名を受け入れました。彼らの受け入れができたのも、助成金によって運営が安定していたおかげです。

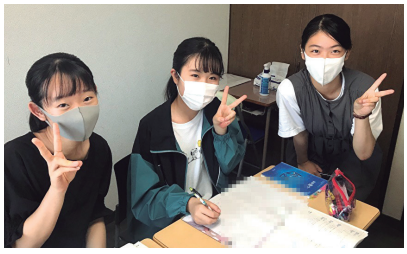
休校や自粛を通して精神的に不安定になったり学校へ行きづらくなったりした児童生徒が増えている状況です。いつでも安心して学べる場所として、次年度の新入生受入れに備えています。みなさまからのご寄付のおかげで、この特別な状況を乗り越え、新年度に期待を持って臨めることをスタッフ一同、心より感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
クリエイト

寄付募集期間：2019/12/01~2020/12/31　2020/11/25~2021/12/31
助成申請額：**2,740,000**円　**2,841,880**円
助成金額：**2,708,420**円　**2,062**円（2020/11/30現在）

子ども分野

学習機会に恵まれない子どもたちの夢の実現をサポート



福岡教育サポートは「貧困世帯の子どもたちに学力と進路の保障を！」をスローガンに、すべての子どもたちに教育と進路の機会均等をサポートするNPO法人です。

現在、日本の子どもの約7人に1人が貧困と言われています（平成28年国民生活基礎調査の概況：厚生労働省）。高校や大学に進学するためには塾に通うことが当たり前の社会ですが、経済的に苦しい家庭の子どもは塾にも行けず「経済格差＝教育格差」となっているのが実情です。

おかげさまでみなさまからのご支援などにより、当初は1教室で講師2人、生徒3名で始めた事業も、現在では3教室で講師18人、児童・生徒20人まで増やすことができました。子どもたちの学力も着実に伸びています。嬉しいことに当塾を卒業して大学へ進学した学生がこの4月に講師となって戻ってきてくれました。子どもたちに支援の手を差し伸べて、少しでも夢の実現をサポートしたいという私たちの願いも少しずつ形となってきています。

お金をまわそう基金を通して寄せられたみなさまのご寄付は、教室の借用料と講師への交通費に充てさせていただいています。改めましてみなさまからのご支援に感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
福岡教育サポート

寄付募集期間：2019/12/01~2021/03/31
助成申請額：**624,000**円
助成金額：**560,446**円（2020/11/30現在）

子ども分野

地域で生きる
夢と幸せをともに実現する



特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク（事業所名：わいわいくらぶ）は、地域で唯一、重症心身障害の指定を受けている放課後等デイサービスです。重症心身障害児の居場所づくりや療育といった、家族を支える事業はニーズこそあれど、事業として継続することが難しく、当事業所も厳しい経営環境にありますが、『必要な資源は赤字覚悟で展開、継続する』という当法人の信念のもと活動を継続しています。



お金をまわそう基金からの寄付金は、福祉サービスの要である運営面に充てさせていただいています。そのなかでも、主に支援力の向上に注力することによって、利用者により良い環境の中で充実した時間を過ごしていただきます。また、それらを継続することにより安定したサービスの利用が提供できるようになり、利用者のみならず保護者のよりどころの一つとして繋がることが出来ています。

わいわいくらぶでは、助成金なしでは作り上げることが難しかったものがたくさんあります。支援してくださったみなさまには心からお礼申し上げます。今後も、当事業所が多くのニーズに応えられるようご賛同いただければ幸いです。

特定非営利活動法人
秋川流域生活支援
ネットワーク

寄付募集期間：2019/12/01~2020/03/31　2020/04/15~2021/03/31
助成申請額：**806,400**円　**483,840**円
助成金額：**311,860**円　**483,840**円

子ども分野

「一人じゃない」重症心身障害児や
医療的ケア児を地域で支援



みかんぐみは、医療的ケアや重い障害のあるお子さんとご家族を支援するため、当事者の親たちの集まりとして2014年にスタートいたしました。

お金をまわそう基金を通じてご支援いただいている「ピアサポート事業」は、退院して間もない医療的ケア児や重度な障害児の保護者に対し、みかんぐみスタッフ（＝ピア）による交流会を開催し、地域生活の見通しが持てるような知識やノウハウを提供する事業です。

みなさまからのご寄付により、これまでボランティアベースで行ってきたスタッフに「対価」を支払うことが可能になりました。2020年はコロナ禍もあり予定の変更も余儀なくされましたが、3回の交流会を通じて13名のスタッフが活動。就労を諦めざるを得なかったスタッフが多い中、自身の体験が他の誰かの役に立ち、さらに「対価」を得られるという二重の喜びと自信につながっています。

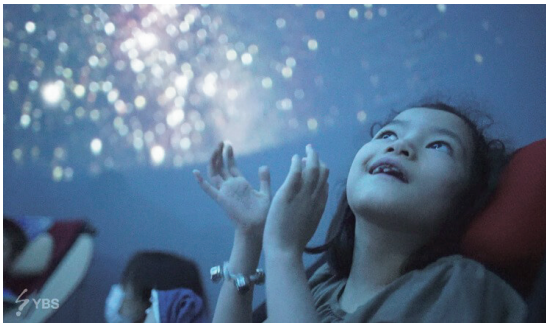
暖かいご支援の一つ一つが、障害児とその家族を支えるのはもちろんのこと、新たな雇用の形も作り出していただいていることに、みかんぐみ一同心からの感謝の気持ちでいっぱいです。この事業を支援いただき、誠にありがとうございます。

特定非営利活動法人
みかんぐみ

寄付募集期間：2020/04/01~2021/03/31
助成申請額：**842,800**円
助成金額：**669,300**円（2020/11/30現在）

子ども分野

子どもたちに希望の星を
ーフライングプラネタリウムで届ける星空ー



全国には14万人の難病と闘う子どもたち、およそ2万人の医療的ケアを必要とする子どもたちがいます。このコロナ禍で病室の子どもたちは家族との面会さえも制限され、在宅療養の子どもたちは外出することも難しくなっています。

こんな時こそ、みんなで一緒に星空を見上げて、心をつないでいきたい。それを可能にするのが、専用の天井投影用プロジェクターをお送りしてプラネタリウムをオンラインライブでお届けする「フライングプラネタリウム」です。どんなに離れていても、私たちは同じ星を見ることができます。星には人と人とをつなぐ力があります。星を見た経験が、きっと心の支えになる。そんな機会を「一般社団法人星つむぎの村」がお届けしています。

病院の病室、施設、在宅療養の個人宅のリビングルーム。日々、病気や感染への心配から極度の緊張を強いられ、制限された日常の中にいる子どもたち。子どもたちには、感染症の影響を受けず、安心して楽しめたり学べたりする形での支援が必要です。みなさまからのご寄付により、子どもたちにその機会を届けることができます。心より感謝申し上げるとともに、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

一般社団法人
星つむぎの村

寄付募集期間：2020/09/01~2021/04/30
助成申請額：**529,000**円
助成金額：**107,794**円（2020/11/30現在）

子ども分野



小児がん克服のために
ー私たちは寄り添い支え続けますー



公益財団法人がんの子どもを守る会は、小児がんで子どもを亡くした親たちによって設立されました。「小児がんが治る病気になってほしい」「小児がんの子どもを持つ親を支援したい」という願いのもと、50年以上にわたって活動を続けています。

小児がんに関する最新の情報を届けることにより、小児がんの患者とその家族のより良い療養の一助にすることは当会の使命の一つです。
これまで、情報を届ける講演会は対面で行ってきましたが新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催が困難となったため、web講演会に転換を図っています。今回、web講演会に必要な機器を設置するため、お金をまわそう基金を通じて寄付をお願いしています。お金をまわそう基金のサイト等を通じて、「子どもにもがんがある」ということを知っていただく機会もできたのではないかと思っています。

当会の活動はご賛同いただきご支援をくださった方々のご芳志で支えられています。この度のご支援に心より感謝するとともに、今後も小児がんの子どもとそのご家族へ気持ちを寄せていただければ幸甚です。

公益財団法人
がんの子どもを守る会

寄付募集期間：2020/09/01~2021/03/31
助成申請額：**859,000**円
助成金額：**57,243**円（2020/11/30現在）

スポーツ分野

アスリートが「安心・安全な環境づくり」を発信



1人でも多くの人に安全な環境の下、スポーツを楽しんでほしい。万が一事故が起こっても誰もが冷静に対処できる環境を作りたい。そんな想いから『ATHLETE SAVE JAPAN』(ASJ)は2015年に誕生しました。

ASJは「『いのち』を守る、『いのち』を大切にする心を育む」をスローガンに、『スポーツ教室+いのちの教室』をパッケージ化し、子どもから大人まで様々なカテゴリーに独自のコンテンツを提供しています。「いのちの教室」は心臓マッサージの方法とAEDの使い方の2点に絞った簡易的なAED講習です。

みなさまからのご寄付は、「いのちの教室」の講習映像の製作費用として使わせていただきました。これにより、誰が講師を務めても講習の個人差がなくなり、全国どこでも同じ授業を受けることが可能となります。今後は、この映像を活用し全国でいのちの教室が実施される社会づくりを推進していきたいと思います。ご支援いただきましたみなさまに、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

一般社団法人
ATHLETE SAVE JAPAN

寄付募集期間: 2020/01/01~2020/12/31　2020/11/25~2021/12/31
助成申請額: **1,500,000**円　**300,000**円
助成金額: **146,594**円　**840**円(2020/11/30現在)

地域社会分野

持続可能なローカルメディア運営のノウハウを「まちづくり」につなげる



2009年11月に創刊したローカルウェブメディア「森ノオト」は、2013年1月にNPO法人化して以降、行政や企業との協働での多世代交流事業や子育て支援事業、資源循環や温暖化対策など、持続可能なまちづくりを行っています。

メディアの運営資金は、団体の理念に共感した人たちの寄付でまかなうモデルを目指しています。皆様からのご支援で、寄付を募るためのメールマーケティングや顧客管理システムの整備などに力を注ぐことができました。

2020年度はコロナ禍に見舞われ、2月下旬から6月下旬まで、イベントや事業の中止を余儀なくされました。それでもメディアでの情報発信や編集会議を続けられたのは、過去11年にわたる地域との信頼関係や、オンラインコミュニケーションを活用できる土台があったことなど、さまざまな要因があります。世界的なパンデミックをネガティブにとらえるのではなく、より持続可能な社会に向かうための契機ととらえ、森ノオトらしくポジティブな発信を行うことができました。2021年1月には「寄付とは何か」「お金とは何か」を考える特集を公開しましたので、ぜひご支援くださった皆様方へのお礼として、お読みいただければ幸いです。

特定非営利活動法人
森ノオト

寄付募集期間: 2019/12/01~2020/03/31
助成申請額: **1,200,000**円
助成金額: **97,000**円

地域社会分野

上米内・漆の森づくりプロジェクトにウルシの苗木を提供



縄文時代から日本人の生活や文化・芸術、国の宝を支えてきた自然の恵み「漆」を、私たちの手で後世の人たちに繋いでいきたい、その想いでウルシネクストは活動を行っています。

まずは自給率5%弱で中国からの輸入に頼っている漆の国内生産量を増やし、需要を安定的に賄えるようにすることが喫緊の課題です。

私たちは2019年から本格的に活動を開始し、新たな産地化を目指し取り組んでいる上米内（岩手県盛岡市）や、原発事故による耕作放棄地の活用を模索している福島県飯舘村などを中心に、2年間で約12,000本の植樹活動を支援してきました。

2020年4月からお金をまわそう基金を通じて集まったみなさまからのご寄付は、昨年11月、上米内・漆の森づくりプロジェクトのウルシの苗木支援（450本）に活用させていただきました。
ご支援をいただきましたみなさまに改めまして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
漆の森づくりは長期的な取り組みが不可欠です。引き続きみなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人
ウルシネクスト

寄付募集期間：2020/04/01~2020/11/30　2020/11/25~2021/11/30
助成申請額：1,980,000円　1,980,000円
助成金額：444,860円　420円（2020/11/30現在）

地域社会分野

見えない壁だって越えられる ー交流型クライミングイベントー



NPO法人モンキーマジックは、障害者クライミングの普及を通じて多様性を認め合えるユニバーサルな社会の実現をめざして2005年から活動しています。2012年からは、障害があってもなくても一緒にクライミングを楽しめる「交流型クライミングイベント」を進めてきました。

このイベントでは、障害の有無に関係なく「仲間」としての関わりが広がり、お互いに声をかけあってクライミングに出かける人たちもいるほど、相互理解が深まってきています。11月の東京開催は記念すべき100回目となりました。毎月開催してきて8年を越えましたが、1度も休まず皆勤賞の視覚障害の方もいらっしゃいます。

コロナ禍の2020年はイベントをしばらく中止せざるを得ませんでしたが、感染拡大対策を整え再開することができました。参加者は通常開催の半数以下でしたが、視覚障害があり外に出られなくなっていた方々が、仲間との再会を心から喜んでくれました。

みなさまからのご寄付は、イベントスタッフの交通費等運営費に充てさせていただきます。参加定員を限定しての企画運営の中ではとても有難く、引き続いてたくさんの元気と笑顔を広げていきたいと思います。

特定非営利活動法人
モンキーマジック

寄付募集期間：2020/06/01~2020/12/31
助成申請額：630,000円
助成金額：61,957円（2020/11/30現在）

地域社会分野

少人数車座制キャリアセミナーで若者と大人の学び合いの場を提供

Heart Best ハーベスト

「人が動き出すきっかけは人である」・・・この考えのもと、NPO法人ハーベストでは、宮城県内の中・高校生に向けて、学校の授業の一環として、若者と多様な大人が出会う機会「キャリアセミナー」を創出しています。この活動は若者たちが自主性を持って学び・働くことを目的として2007年にスタートしました。



2020年度前半はパンデミックの影響から2校で開催中止となりましたが、9月からは活動を再開し、感染症対策に十分注意を払いながら、キャリアセミナーを12校、トークフォークダンスを3校、実施いたしました。

2020年度は修学旅行や職業体験など多くの行事が中止となり、生徒たちと社会との接点が少ないことに危機感を抱いた先生の声かけで、新たにハーベストのキャリアセミナーを導入してくださる学校も出てきました。社会人のリアルな体験談を聞くことができるこの活動が、キャリア教育として重要な意義を持つと評価していただいていることを嬉しく思います。

お金をまわそう基金の助成先団体として歩き出したばかりの私たちですが、既にご支援いただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人
ハーベスト

寄付募集期間：2020/06/01~2021/04/30
助成申請額：**1,600,000**円
助成金額：**51,395**円（2020/11/30現在）

分野指定のご寄付は分野内の団体（事業）に分配されています

お金をまわそう基金では、分野を指定した寄付も受け付けています。
「どの団体に寄付をすれば良いかわからない」という方は、活動の分野で寄付をご検討いただけます。
分野を指定した寄付は、その70%を分野に属する助成先団体の事業に分配し、30%を特定資産とします。

文化・伝統技術分野

文化および芸術の振興を目的とする活動

特定非営利活動法人熊本まちなみトラスト / 公益財団法人山本能楽堂
一般財団法人日本京劇振興協会

子ども分野

児童または青少年の健全な育成を目的とする活動

公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO（旅行事業）/ 特定非営利活動法人タイガーマスク基金
一般社団法人Colabo / 特定非営利活動法人クリエイト / 特定非営利活動法人福岡教育サポート
特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク / 特定非営利活動法人みかんぐみ
一般社団法人星つむぎの村 / 公益財団法人がんの子どもを守る会
公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO（交流事業）
公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を / 特定非営利活動法人Lino

スポーツ分野

教育、スポーツ等を通じて豊かな人間性の育成を目的とする活動

一般社団法人ATHLETE SAVE JAPAN

地域社会分野

地域社会の健全な発展を目的とする活動

特定非営利活動法人森ノオト / 特定非営利活動法人ウルシネクスト
特定非営利活動法人モンキーマジック / 認定特定非営利活動法人ハーベスト

※すでに助成期間を過ぎている団体もあります。

お金をまわそう基金

×

休眠預金等活用事業

平成28年12月9日、
「民間公益活動を促進するための休眠預金等※1に係る資金の活用に関する法律」が公布され、
平成30年1月1日施行されました。

お金をまわそう基金は、同法に定める指定活用団体「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」より、
2019年度資金分配団体※2として採択されました。

当財団では実行団体として３団体を選定し、
「医療的ケア児とその家族の夢を寄付で応援/マッチング寄付プログラム」(3か年)
を展開しています。

本プログラムの特徴



マッチング寄付

みなさまからの寄付に休眠預金等に係る資金から寄付額の3倍を加えて助成をします。



休眠預金等活用法

当基金は、休眠預金等活用法に基づく資金分配団体です。寄付額3倍は、本助成金を使用しています。



SDGs

持続可能な開発目標(SDGs)「3:すべての人に健康と福祉を」「10:人や国の不平等を無くそう」に関連する事業です。

※1「休眠預金等」とは、10年以上、入出金等の取引がない預金等のことを指します。預金が「休眠預金等」となった場合、預金保険機構に移管され、最終的に「民間公益活動」の促進に活用される資金のことです。この制度により、社会の諸課題の解決に結びつく事業の創出と普及が加速するとともに、民間公益活動の担い手およびその支援の担い手の育成、効果的・効率的な成果評価の実施や情報公開の仕組み等の環境整備が期待できます。
※2「資金分配団体」とは、民間公益活動を行う団体(実行団体)に対して助成、貸付け又は出資を行う団体です。

休眠預金等活用事業　実行団体【子ども分野】

医療的ケア児とその家族の夢を寄付で応援/マッチング寄付プログラム

医療の進歩により障害や病気を持つ多くの新生児の命が助かるようになりました。

その一方で、家庭などで人工呼吸や痰の吸引、経管栄養などの医療的ケアを必要とする子どもが増加しています。医療的ケア児の家族は24時間の介護への負担や周囲からの理解を得にくいなど、社会から孤立しがちです。

本プログラムでは、医療的ケア児と家族に安心して楽しい思い出をつくってもらうことや、きょうだい児が叶えたい夢をサポートするなど、医療的ケア児やその家族が孤立することなく夢や希望をもって生活することができる社会の構築を目指しています。

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金を活用した事業です

子ども分野

Dream Tokyo
www.guesthouse.or.jp

医療的ケアが必要な難病児ご家族の励ましあいをサポート（交流事業）



2018年にみなさまからのご寄付で、複数のご家族が同時に旅行した際、家族同士の励ましあいの場がとても意義深く喜ばれる事業だと気が付きました。

患者会や家族会がないことも多いため、集いの機会を増やしていこうと考えています。日頃から外出や旅行の機会が少ないご家族にとって、こうした集いの呼びかけがあることで、一歩踏み出すきっかけになると感じます。

新型ウイルスの流行は長期化しており、感染症ハイリスクのお子さんたちにとって対面でのイベントは非常に困難な状況が続いています。ドリームに携わる多数の小児医療従事者たちも困難に直面していますが、たくさんの方々が病児とご家族の夢をかなえるためにご支援くださっていることに励まされており、御礼申し上げます。一人でも多くのお子さんの夢をかなえられるよう引き続き頑張ります。子どもたちへのエールを今後もどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人
ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO
（休眠預金等活用事業 実行団体）

※3か年事業（2020/06/01~2023/03/31）の1年目（助成申請総額：9,654,900円）
寄付募集期間：2020/06/01~2020/09/30　2020/10/01~2020/12/31
助成申請額：2,270,000円　1,338,000円
助成金額：2,270,000円　613,576円（2020/11/30現在）

子ども分野

離島在住の医療的ケア児と家族の応援プロジェクト！



私たちは真の豊かな「共生社会」の実現の為に、外出が困難な医療的ケア児、難病児とその家族の家族全員旅行や社会の人たちと交流するイベント等を実施してきました。

医療的ケアが必要な子どもへの支援は、当事者はもとより、子育てや介護のほとんどを担う母親への支援に関するニーズが十分に把握されず、社会から孤立している現実があります。

今回の事業では、離島から医療的ケア児とその家族を家族全員旅行やイベントに招待し、社会の人たちと様々な形で触れ合い、交流を持つ機会をつくります。また、支援のあり方や協力の仕方を地域の特性や文化に照らし合わせながら作りあげ、その知見やデータを皆さんに広めていく活動を推進しています。

これからも、皆さまの温かいご支援を胸に、外出が困難な医療的ケア児とその家族のとっておきの笑顔を引き出すことに全力を傾けて参りたいと思います。
そしていつか、皆さまにも、この交流の場にご一緒していただけることを願っています。

公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を
（休眠預金等活用事業 実行団体）

※3か年事業（2020/06/01~2023/03/31）の1年目（助成申請総額：16,739,200円）
寄付募集期間：2020/06/01~2020/09/30　2020/10/01~2020/12/31
助成申請額：**4,266,950**円　**1,650,000**円
助成金額：**4,266,950**円　**643,776**円（2020/11/30現在）

子ども分野

医療的ケア児も重症心身障害児も家族との当たり前の日常を愉しめる社会へ



NPO法人Linoは、医療的ケアや障害の有無や程度に関わらず生活の質の向上を図り、地域社会と繋がり交流していく事が出来るよう、様々な体験が出来る場を提供しています。

2020年度は「お金をまわそう基金」を通していただいたご寄付を、『インクルシネマ』と『沖縄海洋リハビリ体験ツアー』の医療従事者やサポートスタッフの確保に充てさせていただきました。

2020年は、これまでとは全く異なる価値観に柔軟に対応する事を求められた年でしたが、医療従事者やサポートスタッフの確保にみなさまのご寄付を充てることで、より安全、安心な環境下での体験を提供する事が出来ました。

みなさまに心から感謝するとともに、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。今後も感染対策を徹底しながら、障害の有無や程度に関わらず、誰もが安全に、そして充実した生活を送る事が出来るよう活動を続けてまいります。

特定非営利活動法人Lino
（休眠預金等活用事業 実行団体）

※3か年事業（2020/06/01~2023/03/31）の1年目（助成申請総額：11,845,000円）
寄付募集期間：2020/06/01~2020/09/30　2020/10/01~2020/12/31
助成申請額：**3,410,252**円　**1,743,148**円
助成金額：**2,976,120**円　**627,656**円（2020/11/30現在）

きもちのぜいたく

寄付者インタビュー「Shall we KIFU？」

「寄付はしたいけど、どこにしたらいいのかよく分からない」「寄付したお金は、どうなっているんだろう？」と、寄付の一歩前で立ち止まってしまうことがあるという声をしばしば耳にすることがありました。
そこで、「初めての寄付」を考えている方が「寄付ってこういう感じなんだ」というイメージができるよう、お金をまわそう基金の寄付者に寄付体験を語っていただくシリーズ、題して「Shall we KIFU？」をスタートしました！
「寄付は未来への投資」、「寄付をすると心が豊かになる」、「寄付で一緒に社会を良くしていける」など、様々な話を聞くことができました。
当財団のウェブサイトに公開していますので、「きもちのぜいたく」をもたらす寄付の体験談を、ぜひご覧ください。



Shall we KIFU？
～寄付のススメ～
Vol.1

新しい寄付のかたち「さわかみマイル」

さわかみグループが考える世の中づくりに、たくさんの人に参加してほしい。
そんな思いから生まれたのがさわかみマイルです。
さわかみ投信の定期定額購入時や、さわかみグループのボランティアやイベント参加で貯まる「さわかみマイル」を、お金をまわそう基金に寄付していただくことができます。
「さわかみマイル」は1マイル=1円。
通常の寄付と同じように団体や分野を指定できます。

たまったマイルを誰かの応援に使う。未来の社会のために使う。
マイルではじめる世の中づくり。新しい「きもちのぜいたく」です。

さわかみ mile

今後も支援者と団体、団体と団体など、様々な繋がりを強固にする触媒として活動を広げ、支援者に

こころのまんぞく

助成先団体訪問

支援者からの寄付が社会を良くするための事業にどのように活用されているか。
助成先団体の活動をより理解していただくために、当財団のスタッフが団体を訪問し「活動報告」を発信しています。

第5期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の予定より訪問数は少なくなりましたが、9団体11事業の様子をお伝えすることができました。



秋川流域生活支援ネットワーク
重症心身障害児向けの放課後等デイサービス『わいわいくらぶ』訪問



クリエイト
ここに子どもたちの居場所がある、NPO法人クリエイト訪問



山本能楽堂
舞台の上の室町時代、山本能楽堂へ訪問



森ノオト
持続可能なまちづくりに取り組む「NPO法人森ノオト」訪問



ウルシネクスト
未来へのギフト ～ウルシネクストの「漆の森づくり」～



モンキーマジック
見えない壁だって越えられる ～マンデーマジック東京～



福岡教育サポート
学習機会に恵まれない子どもたちの夢の実現をサポート



ウルシネクスト
国産漆を後世につなげていくため「漆の森づくり」にご支援をお願いします



Lino
色々な人がいて当たり前の世の中を、皆で作っていきたい！



みかんぐみ
ピアサポート ～障害のある子とその家族が地域で普通に生きていくために～



Lino
誰もが「諦めない日常」を過ごせる社会を目指して。沖縄・海洋リハビリツアー

助成先団体・活動報告会/情報交換会



2019年12月16日（月）、当財団にて「お金をまわそう基金4周年活動報告会・忘年会」を開催し、助成先団体も交え、ご支援をいただいているみなさまに直接お礼をお伝えし、活動報告やこれからのことをざっくばらんにお話させていただきました。忘年会も大盛り上がりで本当に活気ある楽しい時間となりました。

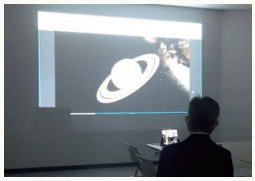


7月29日（水）、お金をまわそう基金の助成先団体がオンラインで集結し、活動内容や寄付訴求の方法などの情報交換会を行いました。



10月15日（木）、医療的ケア児や難病児の支援に取り組む助成先団体の交流会を開催しました。オンライン、リアル合わせて6団体8名の方とイベント開催やクラウドファンディングなど、直面している課題について話し合いました。





他にも「星つむぎの村」によるフライングプラネタリウムの上映や、代表理事の澤上篤人による寄付と経済の話などもあり、中身の濃い時間となりました。

「お金をまわそう基金に寄付して良かった」と思っていただけるような取り組みを続けてまいります。

決算報告

正味財産増減計算書

2019年12月 1日から2020年11月30日まで

公益財団法人お金をまわそう基金

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	374	207	167
特定資産受取利息振替額	374	207	167
受取補助金等	15,877,575	0	15,877,575
受取補助金等振替額	15,877,575	0	15,877,575
受取寄付金	44,120,303	41,239,262	2,881,041
受取寄付金	9,000	11,030	△ 2,030
受取寄付金振替額	44,111,303	41,228,232	2,883,071
経常収益計	59,998,252	41,239,469	18,758,783
(2) 経常費用			
事業費	53,928,952	36,129,060	17,799,892
管理費	6,174,753	5,215,862	958,891
経常費用計	60,103,705	41,344,922	18,758,783
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 105,453	△ 105,453	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 105,453	△ 105,453	0
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 105,453	△ 105,453	0
一般正味財産期首残高	△ 105,453	0	△ 105,453
一般正味財産期末残高	△ 210,906	△ 105,453	△ 105,453
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
受取補助金等	23,166,950	0	23,166,950
受取民間補助金	23,166,950	0	23,166,950
受取寄付金	54,278,661	55,168,349	△ 889,688
受取寄付金	54,278,661	55,168,349	△ 889,688
特定資産運用益	374	207	167
特定資産受取利息	374	207	167
一般正味財産への振替額	△ 59,989,252	△ 41,228,439	△ 18,760,813
一般正味財産への振替額	△ 59,989,252	△ 41,228,439	△ 18,760,813
当期指定正味財産増減額	17,456,733	13,940,117	3,516,616
指定正味財産期首残高	33,997,414	20,057,297	13,940,117
指定正味財産期末残高	51,454,147	33,997,414	17,456,733
Ⅲ　正味財産期末残高	51,243,241	33,891,961	17,351,280

貸借対照表

2020年11月30日現在

公益財団法人お金をまわそう基金

（単位：円）

科　　目	当年度	科　　目	当年度
Ⅰ　資産の部		Ⅱ　負債の部	
１．流動資産		１．流動負債	
現金預金	14,215,617	未払金	14,099,734
未収金	714	預り金	366,450
流動資産合計	14,216,331	流動負債合計	14,466,184
２．固定資産		負債合計	14,466,184
(1) 特定資産		Ⅲ　正味財産の部	
子ども分野指定寄付	8,533,855	１．指定正味財産	
スポーツ分野指定寄付	11,286	民間補助金	7,289,375
文化・伝統技術分野指定寄付	42,204	寄付金	44,164,772
地域社会分野指定寄付	740,158	指定正味財産合計	51,454,147
財団運営費（公益目的事業）	25,400,591	（うち特定資産への充当額）	(51,454,147)
財団運営費（法人管理）	8,803,694	２．一般正味財産	△ 210,906
休眠預金等活用事業	7,179,265	正味財産合計	51,243,241
什器備品	193,094	負債及び正味財産合計	65,709,425
ソフトウェア	550,000		
特定資産合計	51,454,147		
(2) その他固定資産			
什器備品	38,947		
その他固定資産合計	38,947		
固定資産合計	51,493,094		
資産合計	65,709,425		

受取寄付金の内訳（第５期）

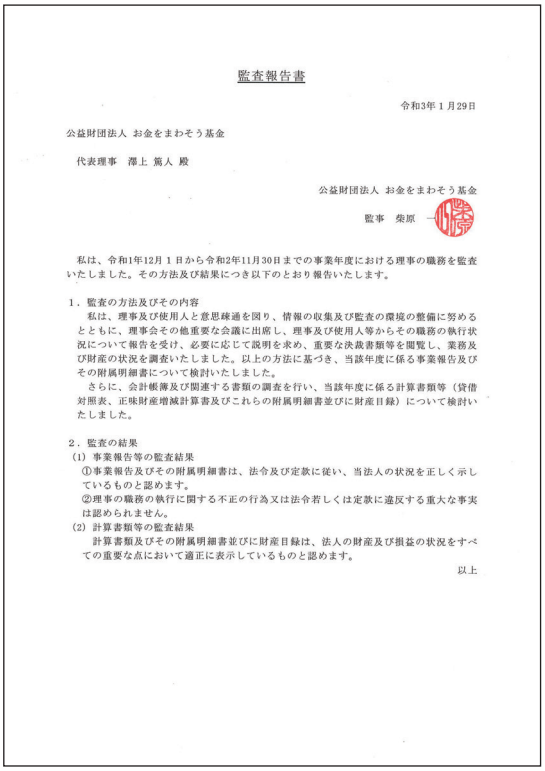
（単位：円）

子ども分野	17,495,657
スポーツ分野	150,770
文化・伝統技術分野	241,800
地域社会分野	590,260
財団運営費	35,800,174
合計	54,278,661

※指定正味財産の受取寄付金の内訳です。助成先を指定して寄付されたものは、属する分野に合算しています。

※財団運営費は、さわかみグループはじめ 121 名の支援者よりご寄付をいただきました。





監査報告書

令和3年１月29日

公益財団法人 お金をまわそう基金

代表理事　澤上 篤人 殿

公益財団法人 お金をまわそう基金

監事　柴原

私は、令和1年12月１日から令和2年11月30日までの事業年度における理事の職務を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

２．監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

寄付の取り扱いについて
（寄付の種類と使いみち）

寄付の種類

当財団で受け付けている寄付は以下の４種類です。

1 個別団体への指定寄付
当財団が助成先として選定した団体の中から、寄付者が個別団体を指定して寄付をすることができます。

2 分野への指定寄付
寄付者が分野（文化・伝統技術/子ども/スポーツ/地域社会）を指定して寄付をすることができます。
寄付金は指定された分野に属する団体に助成します。

3 運営費用への寄付
当財団の運営費用を指定して寄付をすることができます。

4 一般寄付
上記の（1）～（3）の使途を指定せずに寄付されたものは、一般寄付として取り扱います。

寄付の使いみち

1 個別団体への指定寄付
寄付金の100％を当該事業年度に指定された団体へ助成します。ただし、以下に該当するときには、指定された団体が属する分野の助成財源（以下、特定資産という。）とします。
・当該事業年度に募集している金額を上回る寄付金があったときの超過分
・実際に事業で使用した金額よりも助成金額が上回る寄付金があったときの超過分
・助成先団体として取り消されたときの全額

2 分野への指定寄付
寄付金の70％を当該事業年度に指定された分野の団体へ助成し、残りの30％は特定資産とします。ただし、当該事業年度に指定された分野で70％を助成金として使用できない場合、その寄付金は特定資産とします。

3 特定資産
特定資産は分野ごとに管理し運用します。毎年、事業年度末日時点の評価額を求め、その評価額の10％を翌事業年度の分野に属する団体へ助成します。なお、助成先団体への指定寄付のうち、募集金額を上回る寄付金があり、特定資産としたものも同様です。特定資産は預貯金、債券、投資信託などで運用し、総額および具体的な運用方法については、随時、公表します。

（留意事項）特定資産の運用につきましては、運用する商品によって値下がりなどの各種リスクがございます。
そのため、寄付時点よりも評価額が増加若しくは減少することがあります。

4 運営費への指定寄付
当該事業年度の公益事業費、または法人管理費とします。公益事業費とは、公益事業の目的を達成するための費用です。法人管理費とは、法人の事業を管理・運営するために毎事業年度経常的に要する費用です。当該事業年度の寄付額が前述の費用を上回った場合は、翌事業年度に繰り越します。

5 一般寄付
一般寄付は、運営費への指定寄付として使用します。

6 寄付金の返金
寄付金の返金はいたしかねます。

寄付の取り扱いについて
（決済）

寄付の方法

寄付のお申し込みは、「サポーター（毎月継続寄付）」と「今回のみ」をご用意しています。
お申し込み方法は以下のとおりです。

【サポーター（毎月継続寄付）の場合】

・クレジットカード払い：当財団ウェブサイトより、金額等を指定の上お申し込みください。

・口座振替：申込用紙をお送りしますので、メールまたはお電話にて用紙をご請求ください。

【今回のみの寄付の場合】

・クレジットカード払い：当財団ウェブサイトより、金額等をご指定の上お申し込みください。

・銀行振込：当財団ウェブサイトより必要事項をご入力の上、申し込み金額を当財団指定口座にお振り込みください。

※銀行振込の指定口座は、お申し込み完了後にウェブサイト上でご案内します。
※金融機関窓口で10万円を超える現金をお振込する場合は本人確認書類をご持参ください。

・郵便振替：申込用紙をお送りしますので、メールまたはお電話にて用紙をご請求ください。

当財団ウェブサイト：https://okane-kikin.org/
インターネット検索：お金をまわそう基金
電話番号：03-6380-9864（平日10時～17時）
Email：info@okane-kikin.org
所在地：〒102-0082　東京都千代田区一番町29番地2

※現在寄付を受け付けている分野・団体については、当財団ウェブサイトまたはお電話にてお問い合わせください。
※寄付の使途を指定していない場合は「一般寄付」として取り扱いいたします。

その他の寄付の方法

さわかみマイル、インヴァストミッションプロジェクト、Yahoo！ネット募金、チャリボン、ソフトバンクつながる募金などでも寄付ができます。

さわかみ mile	さわかみ投信の定期定額購入時や、さわかみグループのボランティアやイベント参加で貯まる「さわかみマイル」を1マイル=1円で寄付できます。
インヴァスト証券 インヴァスト ミッションプロジェクト	インヴァスト証券のFXサービスで、プログラム実施期間中の取引数量に応じて貯まる「社会貢献ポイント」を1ポイント=1円で寄付できます。
YAHOO! JAPAN ネット募金	ヤフー株式会社が運営するネット募金サービスです。Tポイントやクレジットカード決済で寄付できます。
charibon by VALUE BOOKS	古本等をリユース会社で買い取り、その買い取り代金を寄付することができます。
つながる募金	ソフトバンクユーザーであれば、ソフトバンクの利用料金と一緒に寄付することができます。

遺　贈　当財団では遺贈のご相談をお受けしています。遺贈で社会貢献をお考えの方はぜひご相談ください。

税額控除

当財団は、内閣府から税控除の資格を有する公益法人として認定されています。そのため寄付金は税法上の優遇措置を受けることができます。

公益財団法人
お金をまわそう基金

